

From Editor

より快適な輸入車ライフを目指して

INTERVIEW ～新車と中古車が一体となったコーンズのショールーム～



店舗内は3つのエリアに分かれている。写真・左上がベントレー、右上はマセラティ、そして左下が認定中古車の展示場。右下はベントレーの接客スペース。店舗内は、ショールームというより、豪華客船のラウンジのような雰囲気に仕上げられている。

コーンズが昨年12月7日、横浜市西区にオープンさせた約300坪という広大な敷地面積を誇る横浜ショールーム。ベントレー／マセラティの販売拠点としては日本屈指と言っても過言ではない。UCGが目すべきは、新車と中古車が一体となったショールームという点に

あるだろう。コーンズとしては初の試みとなるようだ。編集部はさっそくメガ・ディーラーを牽引する吉田秀生 支店長を訪ね、目指す方向などを聞いた。

—個性的な店舗デザインコンセプト—

コーンズの誕生は鎖国の解けた幕末の1861年にまで遡ります。場所は横浜でした。英国人のフレデリック・コーンズが、横浜で絹と茶を扱う事業を始めました。創業当時コーンズの住所は港町

14番、現在のマリンタワーの位置です。ですから私たちの「港・横浜」に対する思いには特別なものがあるのです。そこで、店舗デザインのコンセプトは海としました。天井の造形やライティングは波、展示／接客スペースは豪華客船をイメージしています。開港当時のマップを掲げているのも、私たちの思いを地元の皆様にお伝えしたいからです。

—新しい時代を作る黒船をイメージ—

コーンズがショールームを新車／認定中古車・一体としたのは初の試みとなります。あらゆる意味で、この横浜ショールームが鎖国を破った“黒船”のような役になるでしょう。ご存じのように、私たちの取り扱うクルマは生産／販売台数の限られているプレミアムカーです。より多くの方にその魅力を体験していただくには、中古車が重要なポイントに

なると考えています。

プレミアムカーの場合、安いから中古車を選ぶ、もうそんな時代ではありません。独自の価値観と生き方を持った堅実なお客は、新車か中古車かではなく、いかにこだわりを持てる車があるか。確かな店から満足感や楽しみを得ることなのです。

コーンズ横浜ショールームは、新車と中古車のお客を区別するようなことは決めてないですし、接客など販売のやり方を変えることもありません。中古車も新車と同じ満足感を得られるよう、商品を徹底的に仕上げ、アフターフォローもきっちりさせていただきます。

—横浜は堅実な方が多い?—

私たちがこの場所に店舗を構えたのもそれが理由のひとつです。みなとみらい地区が若く移り変わりの早いエリアと例えるならば、ここはじっくりと腰を落着けこだわりのものを時間を掛けて選ぶにふさわしいところと考えます。地元の方には中古車を見に、ぜひ気軽に遊びに来ていただきたいですね。

Text: 野田義彦 / Photo: 丸山博人



1988年、同社が初めて新車拠点を構えた芝浦ショールームの営業部1期生という吉田秀生 支店長。ひとりのお客様の大切さを知っている生粋の「コーンズマン」だ。

CORNES 横浜ショールーム 神奈川県横浜市西区花咲町 6-145 Tel.045-317-6571

営業時間 / 10:00 ~ 19:00 (土・日・祝 / 10:00 ~ 18:00) 定休日 / 無休 (年末年始は除く) <http://www.cornesmotor.com>